

新型コロナの影響で日常生活が全く変わってしまったかと思えます。緊急事態宣言も今月末まで延長されました。日々疑問に思うこと、多々あると思いますが、不安を煽る噂話に惑わされず過ごしましょう。



いつもなら、薫風香る五月、さわやかな季節到来です、で始まる五月号ですが、今年は世の中の様相が全く違ってます。新型コロナウイルス感染症の影響で、全国に緊急事態宣言が出され、「不要不急の外出は控えましょう、府県をまたぐ移動は避けましょう」という指示の下、「80%の人出減少」が合言葉になって、行楽地には人影はなく、多くの方は自宅で過ごし、一方近所のスーパーは混み合ってます。窮屈な思いで過ごされていることと思いますが、皆さんとともに頑張っ乗り越切っていきたいと思えます。

【ニュース】

1. 診療日の変更をお知らせします。

待合室の混雑緩和対策として、診療体制が変更になります。

三谷外来 金曜午後 テレビ電話再診

巽 外来 月曜午後・金曜午前 テレビ電話再診

水曜午前 訪問診療に少しずつ移行します

定期訪問診療を新規で受けます

2. オンライン診療（テレビ電話診療・電話再診）

5月1日よりオンライン診療を開始しました。テレビ電話診療と電話再診の具体的な手順、メリット・デメリット、費用面の変更などをまとめました。どうぞご覧ください。

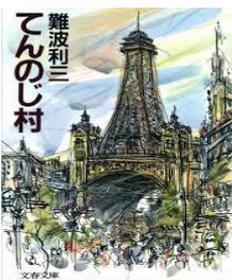
3. マスクお持ちいただき、ありがとうございました

多くの方が「マスク使って」と受付に！サージカルマスクにN95マスクも！この時期、お借りしますね。ありがとうございました。

4. 新型コロナウイルス対策に全力で取り組んでいます（再掲）

3月7日より、クリニックの入口（ドアの内と外）にメッセージを掲示、手指消毒のために消毒液（アルコール・非アルコール）を設置しました。体温測定も実施しています。調子が思わしくない方は、受診前にお電話で症状をお伝えください。現在、ミタクリでは新型肺炎の検査（PCR法）をはじめ、インフルエンザ・溶連菌感染症の診断に必要な鼻咽頭ぬぐい液の検査はやっていません。ご協力お願いいたします。

【ミタクリ歳時記 てんのじ村 おとろしやきしょうさん】



先日、1975年（昭和50年）にNHKで放送された新日本紀行・浪華芸人横丁を視る機会がありました。その中で、私はおとろしやきしょう（喜昇）さんに心惹かれました。おとろしや喜昇、本名佐賀家喜昇さんは昭和期に旭芳子さんと夫婦で新世界新花月の劇場を中心に活躍した漫才コンビです。芳子さんが椅子に腰掛け三味線を演奏、喜昇さんが立って八木節の民謡を唄う。一節終わり客から喝采を浴びると調子に乗り延長するので、逆に疎んじられました。「おい！キー公（喜昇さんのあだ名）！おもんないねん。帰れ！」等のヤジに喜昇さんは「誰がキー公や アホンだら！」

と・・・この芸風を客いじりといいます。新日本紀行のナレーション・・・「今日はきしょうさんが初めてTVに出演する日です。客とのかけ合いが芸風ですので、その持ち味が（客のいないTVで）出せるかどうか？緊張されています。」喜昇さん（き）が芸を披露していると、TVディレクター（デ）が「ちょっとちょっと、持ち時間超えていますよ。これから出を待ってる方もおられるので」（き）「なんや、これからええとこやんか。まだ15～20分やるで。」（デ）「いや、せめて2分でまとめてもらえませんか」（き）「そら殺生だっせ。わしのええとこやらせてもらわんと・・・そらあんな無理だっせ」（デ）「いろいろありまして。最初の打ち合わせ通りにやってください。あとの人が・・・」（き）「あとの人はあとの人だんがな」ナレーション「結局、喜昇さんはTVではたった5分しか時間をもらえませんでした。自分の大事にしてきた芸の半分も演じることができなかったのです。」その後、喜昇さんの芸はラジオ・テレビで披露される事はありませんでした。また、角座（かどざ）などの格を重んじる劇場には、客いじりは下品ということで、呼ばれることもなかったそうです。しかし、私は自分の磨いてきた芸に誇りをもって生きる彼の姿に感動しました。「え？そんな小さな枠におさまれてか、そんなんやってられまへんで！」彼の心意気は無限の可能性を持つ若い芸人さん、特に才能豊かな、霜降り明星の粗品くんに引き継いでもらいたいと願っています。

【オンライン診療のこと】 5月1日からミタクリでもオンライン診療(健康保険適応)をスタートしました。オンライン診療はスマートフォンやタブレットを用いての診療、[テレビ電話診療](#)と[電話再診](#)の二本立てとなります。

コロナ感染症が猛威を振るっている現在、[オンライン診療の条件が通常とは異なります](#)。まとめておきます。

註1:初回は必ず対面診療を、が原則ですが、当院に通院しておられる方はこの期間はオンライン利用可です。

註2:オンライン診療の条件は、当院に通院しておられ、かつ医師がオンライン診療が可能と判断した方が対象です。これまで全くかかっておられない方の初診は対象となりません。

註3:保険診療の場合、機器使用料が別途必要になります。また、自費診療を希望される方は別料金となります。窓口あるいは診察室でお問い合わせ下さい。

【オンライン診療を受けていただく手順】

1) オンライン(テレビ電話診療)として、診療を受けていただく手順

STEP 1  アプリをダウンロードし、診察予約をします

- ・ スマートフォンやタブレットで CLINICS アプリをダウンロードします。
- ・ アカウント登録を行い、診察を予約します。予約時に、簡単な問診票に記入できます。

STEP 2  スマートフォンやタブレットの画面で診察を受ける

- ・ 診察時間がきたら、医師から呼び出しがあるまで待機してください。
- ・ 呼び出しが来たらアプリでプログラムを起動し、診察を開始します。

STEP 3  会計を完了後、処方せん・薬を受け取る

- ・ 事前に登録したクレジットカードで診察費用は決済します。
- ・ 会計完了後、処方せん(またはお薬)がご自宅に届きます。

註:操作など不明な点は、相談窓口(株式会社メドレー 患者様相談窓口)へご連絡ください。

0120-13-1540(年末年始を除く 平日10時~19時)

オンライン(テレビ電話診療)の時間帯

三谷 金曜日 14:00~16:30

異 月曜日 14:00~17:00 金曜日 9:00~12:00

2) オンライン(電話再診)を希望される場合

- ・ これまでと同じように外来診療時間帯にミタクリにお電話下さい。
- ・ これまでと違う点は、基本的には医師が対応しますので、折り返しクリニックからお電話いたします。
- ・ オンライン診療としての機器使用料を別途いただきます。

3) オンライン診療のメリット、デメリット

- ・ オンライン診療の場合、通院の必要がありませんし、待合室での待ち時間がありません。よって、病院受診によるコロナ感染を心配されている方にはメリットは大きいかと思えます。
- ・ 遠方から受診される方には、利便性が高いシステムと考えられます。
- ・ 大きなデメリットとして、通常の対面の診療ではありませんので、身体診察・検査ができません。したがって、身体の変化に気づかない可能性がでてきます。
- ・ オンライン(テレビ電話診療)でパソコンやスマホの操作が難しく感じられる時は、アドバイスしていただけるご家族・ご友人の協力が必要でしょう。アドバイスが受けられない場合、メドレーさん専用の相談窓口(0120-13-1540)をご利用下さい。

【欣子先生の診察室 「コロナが怖いのではない、叩かれるのが怖い」～】



「コロナにはかかりたくない」という患者さんに「長生きしたいってことやね？」と聞くと、「ちょうよ先生！死ぬのはこわくないねん。村で一番にかかりたくないってことよ」・・・何人もの人から聞きました。SNS では、コロナにかかった人や営業自粛時に開店している店を、自警団のように「不届き者」を「さらし首」にする世界が広がっています。ナチスがあつという間にユダヤ人を集めることができたのはゲシュタポが超優秀であったわけではなく、近所の人々の密告という「協力」があつたから・・・という歴史を

思い出す必要があります。みんな、コロナが怖いではなく、叩かれるのを恐れているんだなとわかります。外出を自粛しがまんの生活をされてる方は、人にうつさないのが大事な存在です。でもどうしても仕事で出ないといけない人も、みんなが生きていく上で必要な仕事を身体を張ってしてくれているので大事な存在です。

コロナにかかってしまった人もお気の毒でこそあれ、非難されるべきではありません。誰だってどんなに気をつけていても、ウイルスが目に見えない限り限界があります。みんなそれぞれ大事な存在です。

マスクの不足など防御するものが足りない、検査が足りないから誰が感染しているのかわからない、仕事をやめたくても補償が足りないのでやめれない・・・つまり皆さんのせいではありません。責めるべき相手は為政者です。ほんまに国民を守る気があるのか、とくに最前線で医療にあたっている病院職員に1日330円の特別手当しかださない、PCR検査をふやさない、十分な感染防護具を回さない国には怒りしかありません。「かかりつけ医が必要と認めたらPCRをおこなう」と言っていますが、3月初めでこちらが必要と思っても「入院が必要なレベルでないと無理です」と断られ、4月末でも38.5度の熱があつても「肺炎がないと無理です」と断られました。2か月たつてもなにも変わっていません。保健所が悪いわけではありません。こんなに時間があつたのに、なぜ途上国レベルの検査数なのか？本当にわかりません。逆にドイツや韓国にやり方を聞いて、必要な機器を輸入すればいいじゃないですか。院内感染についてもそうです。うちのクリニックも院内で使うマスクや消毒液や手袋がたりず、院長がずっとパソコンに張り付いてネットで購入しています。つまり、一般のみなさんと購入経路が同じなのです。院内感染を起こさないようにどれだけ神経をすり減らしているか、病院となればなおさらです。でも守る「モノ」がない！ジャニーズが数億円の感染防護具を輸入し病院に配ったとのニュース。感染予防は一番の安全保障じゃないのでしょうか？なぜジャニーズができることが国にできないの？

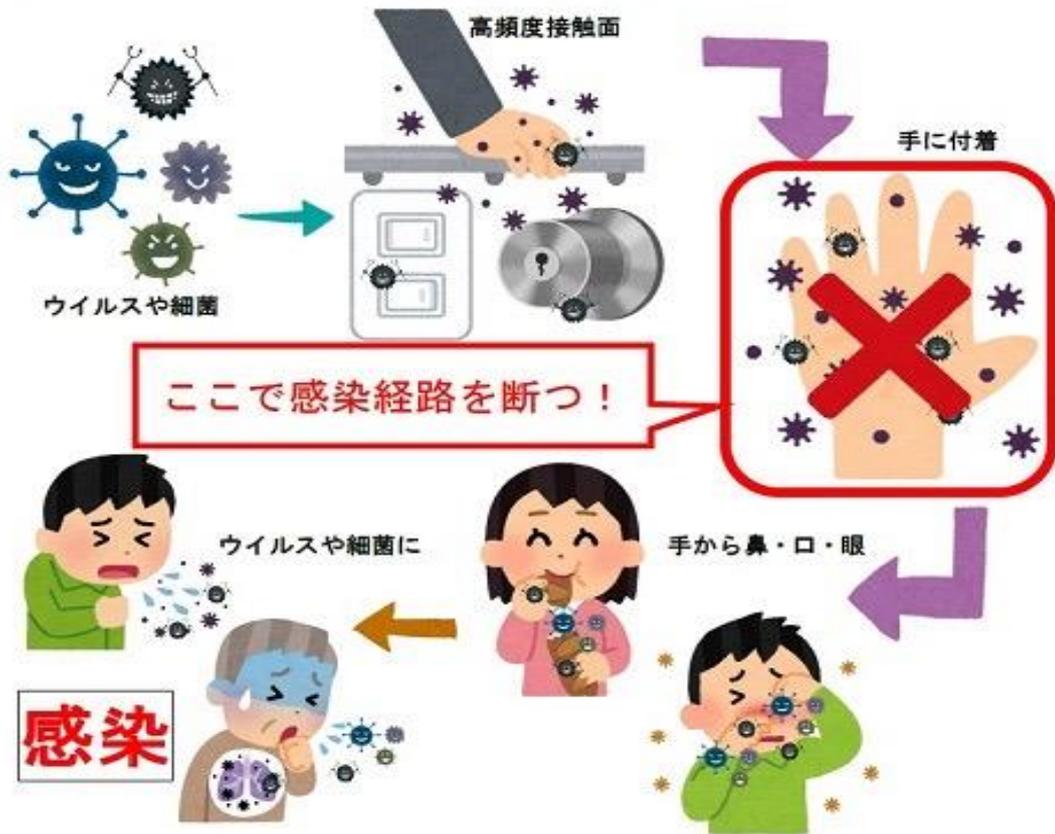
幸い、ミタクリは皆さんの温かい気持ちで守られています。マスクが足りないです！といえは多くの方からマスクの寄付が届きました。本当にスタッフみんなが元気になりました。先の見えない時だからこそ、心だけはコロナに感染しないように。社会的距離（social distancing）をとらないといけない時ですが心の距離は離さないように・・・皆さんとミタクリは繋がったままです。困ったことがあればクリニックにお電話ください。あ、私の母が作る「ばあばの布マスク」も絶賛増産中です。マスクが買えない方に差し上げますよー！！

【外来担当医一覧 2020年5月現在】

予約電話番号：072-260-1601

診察受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	巽 米本	米本 三谷	巽(訪問診療) 三谷	巽 米本	巽(オンライン) 三谷	三谷
午後 (14:00-16:00)	巽(オンライン) 米本(訪問診療)	巽(訪問診療)	巽(予約) 三谷(訪問診療)	巽(訪問診療)	巽(予約) 三谷(オンライン) 米本(訪問診療)	
夜診 (16:30-18:30)		三谷	三谷		三谷	

新型コロナウイルス感染症は、図のように感染していきます。



「欣子先生の診察室便り 今月号は再び登場 ～感染症対策：念押し！～」

“とにかく手洗い！ウイルスの多くは、自分の手を介して、目と鼻と口から入ってきます” 外来での一コマ・あるあるの会話です。

患者さん「近所の公園に人がいっぱいいて、そばを通るのが怖くて・・・」（といいながら目をこする）

全員がマスクをつけて、2mの距離をあけて外出しているという今・・・

さあ、上記のどこが問題でしょう？

マスクなしでジョギングをしている人は、その飛沫（つば：そのなかにウイルスがいます）が後方10mまで拡散しているというデータが出ました。ですので公園内で走っている人とは10m空ける必要があるようです。でも公園のそばを通るだけで、空気でもコロナウイルスがうつることはありません。そして飛沫を浴びたとしても、皮膚からは傷がなければウイルスは入ってきません。皮膚ってすごいバリア機能があるのです。問題は、目と鼻と口の「粘膜」です。粘膜にウイルスがついて感染が成立します。つまり、多くは「なにかを触った自分の手で感染する」のです。先ほどの問題で怖がってほしいのは、公園のそばを通ることより、目をこする「自分の手」です。いろんなところで目にする感染症対策で「手で顔を触らない」というのはそういう意味なのですが、表現が婉曲すぎて皆さんによく伝わってないと思うので思い切って・・・大阪弁で簡単にしっかり言いますと・・・「目こすったらアカンで！」「鼻ほじったらアカンで！」と言う事なんです。

花粉症で目がかゆくなりますよね。でもその人差し指はきれい？手すりとかエレベーターのボタンとかみんなが触っているものを触った手じゃない？携帯・スマホも汚れていますよ。家に帰ったらいったん消毒しましょう。

コロナウイルスは周りを脂質の膜で覆われていますので石鹼で壊れるのです。手は20～30秒、石鹼で丁寧に洗って流水でながすだけで十分です。当面、ウイルスとともに生きることになります。手をしっかり洗ってから、目をこすって鼻をほじってください笑！！